

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言日 令和 5 年 12 月 12 日

事業者名 九州産業大学、九州産業大学造形短期大学部



私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた取組方針及び重点的な取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs 達成に向けた取組方針

1. 文理芸融合の研究を促進し、社会課題の解決に努める
2. 地域、産業界と連携して、地域社会の発展や課題解決に貢献する
3. SDGsの意識向上を図り、持続可能な社会の実現のために行動できる人材を育成する

◆ SDGs 達成に向けた重点的な取組

分類	SDGs 達成に向けた重点的な取組
公正・ パートナーシップ・ 地域社会への貢献	地域の課題解決に繋がるSDGsプロジェクト等を推進し、企業や自治体とのパートナーシップにより地域社会に貢献いたします。
人権・平等・労働	すべての人が学びあい、能力を高められる大学を目指し①男女共同参画社会を担う学生の育成②多様な学生の支援③教職員のライフイベント（育児・介護等）に対応した研究・教育の両立支援を行います。
産業・技術	研究者の研究活動や成果を民間企業が活用し、実用化や産業化へと結びつけるために産学連携活動を推進します。
環境・ワンヘルス	環境に配慮したキャンパス推進・整備を定め、数値目標として2025年までにCO2排出量の10%削減を目指します。光熱費等の経費削減に効果の高い太陽光発電設備の設置を進めています。

◆ SDGs 達成に向けたパートナーシップ

九州産業大学はさまざまな自治体や金融機関と包括連携協定を締結し、地域の課題に迅速かつ適切に対応するとともに、SDGsの達成に貢献する次世代リーダーの育成に努めます。

SDGs達成に向けた取組シート

・「必須」はすべて、「選択」は5項目以上選んで、「具体的な取組」を記載してください。
※「具体的な取組」は、「実施中のもの」または「今後1年以内に取組む予定のもの」を記載してください。

申請年月 2023年12月

事業者名 九州産業大学、九州産業大学造形短期大学部



Table with columns: No, 分類, 項目タイトル, 項目, 必須・選択, 関連する福岡県の宣言・登録制度等への登録状況, 政令市のSDGs登録制度への登録状況, 具体的な取組, 実施状況, 実施経過(1年後), 対応する主なSDGs, 関連する総合計画30の取組事項. Rows 1-12 describe various initiatives like '経営理念の共有', '法令の遵守', '事業継続計画(BCP)', etc.

No	分類	項目タイトル	項目	必須・選択	該当項目	関連する福岡県の宣言・登録制度等への登録状況		政令市のSDGs登録制度への登録状況		具体的な取組	実施状況		実施経過(1年後)		対応する主なSDGs			関連する総合計画30の取組事項		
						登録済の宣言・登録制度等の名称	未登録	未登録	実施予定項目の予定開始年月		開始年月	5	8	10						
															記載省略可能項目					
13	人権・平等・労働	ダイバーシティ経営とジェンダー平等	女性、外国人、高齢者、障がいのある人、性的少数者など、多様な人材が能力を発揮できる職場環境を整えている。	必須						多様性を尊重する大学の実現に向けて、基本方針を定め、ダイバーシティを推進 ⇒ライフイベント(育児・介護等)に対応した支援の充実、育児・介護相談窓口設置、研究支援制度、ベビーシッター割引など ⇒ダイバーシティにかかる講演会の開催	実施中								11 雇用対策の充実、魅力ある職場づくり 15 ジェンダー平等の社会づくり 18 人権が尊重される心豊かな社会づくり	
14		差別やハラスメントの禁止	採用や人事評価、職場において性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別をしていない。また、あらゆるハラスメント行為の防止に取り組んでいる。	必須						理事長を最高責任者とするハラスメント等防止のための推進体制を整備 ・研修会等により、ハラスメントを容認しない風土の確立 ・「キャンパス・ハラスメント相談窓口」では各部所男女1名ずつハラスメント相談員を配置	実施中									11 雇用対策の充実、魅力ある職場づくり 15 ジェンダー平等の社会づくり 18 人権が尊重される心豊かな社会づくり
15		人権教育の推進	人権問題に関する学習機会を提供するなど、人権尊重の精神の育成に取り組んでいる。	必須						1984年学内に現「人権・同和教育推進委員会」を設置し、学生・教職員に対する人権・同和教育の実施及び人権啓発の推進 ⇒学生に対する全学共通の「人権・同和教育」、教職課程の「同和教育論」の授業開講 ⇒学生・教職員に対する学内外の講師による人権講演等の研修会を実施	実施中									11 雇用対策の充実、魅力ある職場づくり 15 ジェンダー平等の社会づくり 18 人権が尊重される心豊かな社会づくり
16		労働安全衛生	業務中の事故などを防ぐため、労働安全衛生に関する講習を実施するなど、安全で衛生的な労働環境づくりに取り組んでいる。	必須						労働安全衛生法に基づき「安全衛生委員会」を設置 ⇒職員の危険防止及び健康障害防止の基本対策及び実施計画の作成や快適な職場環境の形成に努めている	実施中									11 雇用対策の充実、魅力ある職場づくり 20 安全で安心して暮らせる地域づくり
17		長時間労働の抑制	36協定で締結した限度時間を遵守するなど、適切な労働時間管理を行うとともに、ノー残業デーの実施や年次有給休暇取得促進など働き方の見直しに取り組んでいる。	必須						適法な36協定を締結、所轄労働基準監督署に届出済 ・ノー残業デーの設定、定時退社の日々の声掛け ・完全週休2日制導入 ・労働時間管理の徹底・厳正化を目的として「勤怠管理システム」を導入	実施中									11 雇用対策の充実、魅力ある職場づくり 15 ジェンダー平等の社会づくり
18		健康づくり	従業員の心身の健康の保持・増進に取り組んでいる。または、「ふくおか健康づくり団体・事業所宣言」に登録している。	必須	○					年1回の健康診断・ストレスチェック実施 ・健康診断・ストレスチェックの結果に問題があれば産業医による面談を実施	実施中									12 健康づくり、安心で質の高い医療の提供
19		人材の育成	全ての従業員などにスキルアップのための研修や教育の機会を提供している。	必須						中村産業学園スタッフ・ディベロップメント(SD)にかかる基本方針に沿って、計画実施 ⇒関連部所の業務を知るよい機会として職場内研修の実施(OJT) ⇒外部研修の受講機会の提供(OFF-JT)、資格取得のための費用補助 ⇒推薦図書制度、学部授業聴講制度	実施中									1 次代を担う「人財」の育成 15 ジェンダー平等の社会づくり
20		多様な働き方の推進	テレワークの実施やサテライトオフィスを設置するなど、多様な働き方を導入している。	選択						時差出勤、在宅勤務導入などの新しい働き方を整備 ⇒育児・介護のための時差出勤導入 ⇒半日単位の年次有給休暇の導入	実施中									11 雇用対策の充実、魅力ある職場づくり 15 ジェンダー平等の社会づくり
21		仕事と子育ての両立	結婚・出産後も働きやすい職場環境づくりや、従業員が仕事と子育てを両立できるような取組を行っている。または、「子育て応援宣言企業」に登録している。	選択	○	子育て応援宣言企業				多様性を尊重する大学の実現に向けて、基本方針を定め、ダイバーシティを推進 ⇒育児支援制度等の対象年齢の拡大、企業主導型保育園との締結 ⇒出産・育児中で十分な研究時間を確保できない研究者に対して「研究支援員制度」の導入 関連する既存制度に登録済	実施中									11 雇用対策の充実、魅力ある職場づくり 15 ジェンダー平等の社会づくり 25 出会い・結婚・出産・子育て支援
22		仕事と介護の両立	従業員が仕事と介護を両立できるような取組を行っている。または、「介護応援宣言企業」に登録している。	選択	○					多様性を尊重する大学の実現に向けて、基本方針を定め、ダイバーシティを推進 ⇒介護等により十分な研究時間を確保できない研究者に対して「研究支援員制度」の導入 ⇒介護個別相談会の実施、介護に関する相談窓口の設置	実施中									11 雇用対策の充実、魅力ある職場づくり 15 ジェンダー平等の社会づくり
23	障がいの特性に応じた就労の推進	障がいのある人が個性や能力を発揮して働ける環境を整え、積極的に雇用している。	選択						障がい者法定雇用率を達成 ・障がいのある学生への支援 ⇒キャンパスの環境整備(車いす使用者用構内駐車スペース、スロープ、自動ドア) ⇒障がい特性に応じた授業等の工夫	実施中									11 雇用対策の充実、魅力ある職場づくり 16 高齢者、障がいのある人への支援	
24	女性の活躍の推進	女性の管理職登用や、積極的な採用を行っている。	選択						女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画(第2期)の実施(2021-2025) ⇒事務職員管理職(課長職相当以上)に占める女性の割合を20%以上 ⇒教育職員に占める女性の割合を30%以上	実施中									15 ジェンダー平等の社会づくり	
25	キャリア教育の推進	職場体験への協力など、地域の子どもや学生などのキャリア教育に協力している。	選択						実学重視のキャリア教育を実施している(インターンシップ、職業意識の醸成) ⇒1年次前期科目「キャリア形成基礎論」は1年生全員に履修を推奨 ⇒社会で活躍する女性を講師に迎えた「女性活躍講座」を開講 ・大学主催と九州インターンシップ推進協議会主催のインターンシップにおいて、多くの学生に周知し参加を促進している。	実施中									1 次代を担う「人財」の育成 教育の充実	

No	分類	項目タイトル	項目	必須・選択	該当項目	関連する福岡県の宣言・登録制度等への登録状況		政令市のSDGs登録制度への登録状況		具体的な取組	実施状況		実施経過(1年後)		対応する主なSDGs			関連する総合計画30の取組事項	
						登録済の宣言・登録制度等の名称	未登録	未登録	北九州市		福岡市	実施予定項目の予定開始年月	開始年月	9	11	12			
																	記載省略可能項目		
26	産業・技術	商品・サービスの安全性の確保	商品・サービス使用時に想定されるリスクと対策の整理や、商品を安全に使用するための取扱説明書の作成など、商品・サービスの安全性を担保する体制を整備している。	必須						・教職員、学生及び建物設備の安全性確保のため、24時間体制での保守員、常駐警備員、機械警備を実施	実施中							20 安全で安心して暮らせる地域づくり	
															9.4	11	12.8		
27		ユニバーサルデザインの導入と社会課題の解決	ユニバーサルデザインの考え方に基づく商品・サービスや、社会課題の解決につながる商品・サービスの提供に取り組んでいる。	必須							・だれでもトイレの設置 ・大学内のサイン表示にはユニバーサルピクトサインを使用	実施中							7 成長産業の創出 16 高齢者、障がいのある人への支援 22 共助社会づくり、生涯学習の推進
																9.4, 9.5	10.2	17.16, 17.17	
28		新たな技術・商品の開発	品質向上や新たな技術・商品・サービスの開発に取り組んでいる。	選択							・大学の研究者の研究成果、技術やノウハウを民間企業が活用し、実用化や産業化へと結びつけるために産学連携活動を推進 ⇒ICTを活用した地域公共交通運行管理支援 ⇒原反移送作業補助装置の開発 ⇒食品微生物制御のための迅速識別技術の開発と食品産業への展開	実施中							8 中小企業の振興
																9.1, 9.5	11	12.8	
29	地域資源・特性の活用	地域(県産)の原材料や資源の積極的な活用や、地域の特性を生かした商品・サービスの開発に取り組んでいる。	選択							・大学任意団体サークル「食品開発研究会」で活動実施 ⇒近隣の市町村の特産物を素材として、大学の持つ加工技術・設備を活用し、事業化に耐える製品を地域連携先を共同で開発する。(6次化商品開発)・特にSDGs関連:未利用食材の有効活用など ⇒地元企業との共同研究・開発に参画する。 ⇒八代市ユズ果皮は、ユズ館パイ包み焼きとして開発中(製品化の可能性あり)	実施中							2 世界から選ばれる福岡県の実現 9 農林水産業の振興 10 地域と調和した観光産業の振興 21 地域の活力向上	
															11.a	14.a, 14.b,	15.6		
30	DXの推進	デジタル化による生産性の向上などに取り組んでいる。	選択							・総合情報基盤センター主導によるDXの推進 ⇒各種申請に関するWEB化 ⇒教員情報の一括管理(DMS)の開発 ⇒受付システム、貸出システムの開発 ⇒AIチャットボットの導入、会議のWEB(オンライン)化 ⇒教職員ポータルへの導入 ⇒RPAによる各種業務の自動化	実施中							5 デジタル社会の実現	
															4.4	8.2	9.1		
31	多言語対応	ホームページや店舗などで多言語表記(英語表記のみ含む)に対応している。	選択							・ホームページでの多言語表記(英語)に対応	実施中							11 雇用対策の充実、魅力ある職場づくり 19 外国人材に選ばれる地域づくり	
															1.4	4.5	10.2		
32	環境・ウェルネス	廃棄物の削減・リサイクルの推進、廃棄物の適正処理	事業活動から生じる廃棄物の削減やリサイクルの推進、または「県産リサイクル応援事業所」の登録を行っている。かつ、廃棄物の適正処理を徹底している。	必須	○					・紙・段ボール・空き缶・ペットボトル等、リサイクル資源の分別を徹底 ・コピー用紙裏紙の再利用(メモ帳、テスト印刷)	実施中							23 快適な環境の維持、保全	
															6.3	11.6	12.3, 12.4, 12.5		
33		脱炭素化の推進	節電や省エネ効果の高い機器の利用などの省エネ活動や、公共交通の積極的な利用、社用車への電動車の導入など、脱炭素化に取り組んでいる。 または、「エコ事業所」、「ワンヘルス宣言事業者登録制度(No.20)」に登録している。	必須	○					・クールビズ・ウォームビズの励行 ・学内設備更新時や建物建設設計時に節電や省エネ効果の高い機器の選定 ・照明のLED化推進 ・令和6年4月から学内4棟の屋上に太陽光発電設備を設置	実施中							3 ワンヘルスの推進 6 グリーン社会の実現	
															7.a, 7.b	11.6	13.3		
34		感染症対策の推進	新型コロナウイルスをはじめとした感染症対策など、衛生対策を徹底している。 または、「ワンヘルス宣言事業者登録制度(No.1~10)」に登録している。	必須	○					・新型コロナウイルス感染拡大防止のための活動指針の制定 ⇒オンライン会議又は書面会議の積極的活用 ⇒授業実施時、機械換気設備の運転 ⇒建物出入口への消毒液の設置	実施中							3 ワンヘルスの推進 27 感染症対策の推進	
															3.3	6.1	8.8		
35	プラスチックごみの削減	プラスチックごみの削減に取り組んでいる。 または、「ふくおかプラごみ削減協力店」、「ワンヘルス宣言事業者登録制度(No.22)」に登録している。	選択	○					・伊藤研究室では海洋プラスチックごみのアップサイクル活動「SEA you againプロジェクト」に取り組む ⇒海洋プラごみ100%の石けんケースをデザイン ・環境省と日本財団が進めている「海ごみゼロ」に賛同し、名島海岸などで海洋ごみの清掃活動を実施	実施中							3 ワンヘルスの推進 23 快適な環境の維持、保全		
															11.6	12.4, 12.5	14.1, 14.2		
36	食品ロスの削減	製造・流通、外食・販売過程において発生する食品ロスの削減に取り組んでいる。 または、「食べもの余らせん隊」、「ワンヘルス宣言事業者登録制度(No.33)」に登録している。	選択	○					・売れ残る可能性がある商品をフードロス防止の観点から値引きするなどの対応を行っている。	実施中							3 ワンヘルスの推進 23 快適な環境の維持、保全		
															2.1	12.3	15.6		
37	農林水産物の地産地消の推進	県産の農林水産物を使用し、地産地消に取り組んでいる。 または、「ふくおか地産地消応援の店」、「ふくおかの地魚応援の店」、「ふくおかジビエの店」、「ワンヘルス宣言事業者登録制度(No.25, No.28, No.34)」に登録している。	選択	○					・大学任意団体サークル「食品開発研究会」で活動実施 ⇒近隣の市町村の特産物を素材として、大学の持つ加工技術・設備を活用し、事業化に耐える製品を地域連携先を共同で開発する。(6次化商品開発)・特にSDGs関連:未利用食材の有効活用など ⇒地元企業との共同研究・開発に参画する。 ⇒八代市ユズ果皮は、ユズ館パイ包み焼きとして開発中(製品化の可能性あり)	実施中							3 ワンヘルスの推進 9 農林水産業の振興 21 地域の活力向上		
															2.4	14.2, 14.4	15.6		
38	生物多様性	健全な森林環境や河川環境を維持するための活動など、生物多様性の保全に取り組んだり、地域が実施する環境保全活動への協力・支援を行っている。 または、「ワンヘルス宣言事業者登録制度(No.19, No.23)」に登録している。	選択	○					・プロジェクト研究所「水循環社会技術研究所」において実践的研究を推進 ⇒伝統的雨庭の調査とデザイン手法の開発 ⇒ミズベリング樋井川会議の企画・運営ならびに効果の評価研究 ⇒あまみずコーディネータ講座の企画・運営ならびに効果の評価研究	実施中							3 ワンヘルスの推進 23 快適な環境の維持、保全		
															13.1	14.2	15.4		
39	環境に配慮した調達・商品・サービス開発	環境負荷に配慮した原材料の調達や、環境に配慮した商品・サービスの開発に取り組んでいる。	選択						・本学の学生がベンチャービジネスで立ち上げた「カフェ」での取組 ⇒フェアトレード認証のコーヒーや無農薬の紅茶 ⇒プラスチックフリーの容器で提供	実施中							6 グリーン社会の実現		
															9.4	12.8	13.3		
40	緑化の推進	壁面緑化や植栽など、社屋や地域の緑化に取り組んでいる。 または、「ワンヘルス宣言事業者登録制度(No.24)」に登録している。	選択	○					・「キャンパスマスタープラン」に基づき学生の休息等空地の整備 ⇒草花鑑賞が楽しめる水辺広場(庭園)の整備 ⇒5月ごろホテル鑑賞会	実施中							3 ワンヘルスの推進 6 グリーン社会の実現		
															11.7	13.3	15.2		
41	再生可能エネルギーの利用	太陽光パネルの設置や再生可能エネルギー由来の電力の調達など、再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。 または、「ワンヘルス宣言事業者登録制度(No.21)」に登録している。	選択	○					・風力発電を利用した街灯を学内に一部設置 ・令和6年4月から学内4棟の屋上に太陽光発電設備を設置 ・再生可能エネルギーについて研究 ⇒小型水力発電設備を開発 ⇒燃料電池や太陽電池に関する研究	実施中							3 ワンヘルスの推進 6 グリーン社会の実現		
															7.2, 7.a	11.6	13.3		

※「ワンヘルス宣言事業者登録制度」は、各項目に関する取組を実施している場合のみ、選択してください。